

かしま観光戦略プラン Ver. 3. 0

佐賀県鹿島市

令和3年3月

目次

- ・ 沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- ・ 基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- ・ 目指す観光地像・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- ・ 戦略・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- ・ 具体的な取り組み・・・・・・・・・・・・・・ P 4
- ・ プランの推進体制・・・・・・・・・・・・・・ P 7
- ・ 用語解説・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 8
- ・ かしま観光戦略会議 委員名簿・・・・・・・・ P 11

沿革

- ・ かしま観光戦略プラン 平成 21 年度～平成 25 年度
- ・ かしま観光戦略プラン ver.2 平成 26 年度～平成 31 年度
- ・ かしま観光戦略プラン ver.2.1
インバウンド急増、社会情勢の変化などに対応するため、平成 28 年度に必要な見直しを実施。
- ・ かしま観光戦略プラン ver.2.2 平成 31 年度～令和 2 年度
鹿島市の最上位計画である「第六次鹿島市総合計画（平成 28 年度～令和 2 年度）」と足並みをそろえるため、ver2.1 の見直しを実施し、期間を令和 2 年度までに改める。
- ・ 鹿島市の最上位計画である「第七次鹿島市総合計画（令和 3 年度～令和 7 年度）」の策定にあわせ、「かしま観光戦略プラン ver.3.0」を策定する。

基本理念

祐徳稲荷神社、有明海や多良岳山系の自然、肥前浜宿の歴史的景観、道の駅鹿島や鹿島酒蔵ツーリズムなどの観光資源を生かした主体的な取り組みにより、国内外からの観光旅行を促進することで、地域の住民が誇りと愛着を持つことのできる活力に満ちた観光産業の持続的発展を通じ、将来にわたる豊かな生活の実現を目指すことを基本理念とします。

目指す観光地像

祐徳稲荷神社、有明海や多良岳山系の自然、肥前浜宿の歴史的景観、道の駅鹿島や鹿島酒蔵ツーリズムなどの観光資源をストロングポイントとして、国内外に広く発信するとともに、観光資源の付加価値の向上や観光振興を担う体制を強化などに取り組むことにより、回遊性が高い、魅力的な観光地を目指します。

戦略

戦略① 観光資源の付加価値の向上

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1) 回遊性の高い観光地づくり | 4) 道の駅鹿島・干潟交流館の魅力向上 |
| 2) 酒蔵ツーリズムの推進 | 5) 観光イベント支援 |
| 3) 体験ツアーメニューの充実 | 6) 新たな観光スタイルの構築 |

戦略② 観光振興を担う体制の強化

- | | |
|---------------|--------------|
| 1) 指導者・ガイドの育成 | 2) 観光産業組織の強化 |
|---------------|--------------|

戦略③ 情報発信の強化

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1) 誘客・営業活動 | 3) 観光パンフレット・サインの充実 |
| 2) 様々な情報発信ツールの活用 | 4) 観光サインの更新・新設 |

戦略④ インバウンド対応の強化

- | |
|--------------------|
| 1) インバウンド受け入れ体制の充実 |
|--------------------|

戦略⑤ 広域観光の強化

- | |
|------------------------------------|
| 1) 九州新幹線西九州ルート開通を見据えた誘客 |
| 2) 肥前路南西部広域観光協議会（WET）を軸とした近隣市町との連携 |

具体的な取り組み

戦略① 観光資源の付加価値の向上

1) 回遊性の高い観光地づくり

| 具体的な取り組み | 数値目標など | 備考 |
|---------------------------|--------------|----|
| 二次交通の確保・整備 | 実証実験の実施 1回以上 | |
| ウォーキング、サイクリングルート of 検討、実施 | 1ルート以上 | |
| 観光ポイントの磨き上げ | 10カ所以上 | |

2) 酒蔵ツーリズムの推進

| 具体的な取り組み | 数値目標など | 備考 |
|-----------------------------|----------|----|
| 日本酒で乾杯条例による、日本酒の普及 | 生産量対前年比増 | |
| 年間を通じた酒蔵ツーリズムの検討、実施 | 年4回以上 | |
| お酒を活用したイベントの継続、充実 | 満足度対前年比増 | |
| お酒、地元食材などに関する知識向上のための講習会の開催 | 年2回以上 | |

3) 体験ツアーやメニューの充実

| 具体的な取り組み | 数値目標など | 備考 |
|----------------------|---------------|----|
| ニューツーリズムの推進 | 体験型観光メニュー5コース | |
| アウトドア・アクティビティの推進 | 体験型観光メニュー5コース | |
| 年間を通じた体験ツアーの検討、実施 | 年1回以上 | |
| 民泊等の受け入れ施設を含めたツアーの推進 | 年1回以上 | |
| 民泊等受け入れ施設の発掘 | 3軒以上 | |

4) 道の駅鹿島・干潟交流館の魅力向上

| 具体的な取り組み | 数値目標など | 備考 |
|----------------------|-------------------------|----|
| 道の駅鹿島の施設整備による利便性の向上 | 来場者数 年50万人以上 | |
| 新たなコンテンツの検討・実施 | 実証実験 1回以上 | |
| 干潟交流館を活かした道の駅鹿島の魅力向上 | イベントの実施 年5回 来館者数 6万人 | |
| 道の駅鹿島の一体的な管理運営の検討、協議 | 月1回以上開催 | |

5) 観光イベント支援

| 具体的な取り組み | 数値目標など | 備考 |
|------------------------------|----------|----|
| 4大イベントへの支援 | 満足度対前年比増 | |
| 賑わいの創出を図るためのイベント支援 | 年5回以上 | |
| イベント広報支援 | 閲覧数増 | |
| 資金調達方法の見直し、検討（クラウドファンディングなど） | 1イベント以上 | |

6) 新たな観光スタイルの構築

| 具体的な取り組み | 数値目標など | 備考 |
|---------------------|----------|----|
| 観光DXの推進 | 満足度対前年比増 | |
| 効果的な映像等コンテンツの定期的な製作 | 年4回 | |

戦略② 観光振興を担う体制の強化

1) 指導者・ガイドの育成

| 具体的な取り組み | 数値目標など | 備考 |
|---------------------------|--------|----|
| ガイド養成講座の開催等により、全市的なガイドの育成 | 5人以上 | |
| 観光産業における指導者の育成 | 5人以上 | |
| 地域担い手創生塾との連携推進 | - | |

2) 観光産業組織の強化

| 具体的な取り組み | 数値目標など | 備考 |
|-----------------------|--------|----|
| DMO設立を見据えた組織員の研修体制の構築 | 年1回以上 | |
| 外部人材登用の検討 | 1人以上 | |

戦略③ 情報発信の強化

1) 誘客・営業活動

| 具体的な取り組み | 数値目標など | 備考 |
|-----------------------------------|---------------------|----|
| 国内外旅行エージェント等への営業活動強化（市観光専門員の配置ほか） | 交流人口400万人、観光消費額10%増 | |
| ネット等での営業活動の方法の構築、実施 | のべ100社以上 | |

2) 様々な情報ツールの活用

| 具体的な取り組み | 数値目標など | 備考 |
|------------------------------------|--------|----|
| SNSやHP、アプリなどを活用した積極的な情報発信 | 閲覧数増 | |
| イベントでのフォトコンテストなど鹿島市の情報（写真、動画など）の拡散 | 年1回以上 | |
| インフルエンサーの招致 | 年1回以上 | |
| デジタルマーケティングの研究 | - | |

3) 観光パンフレット・サインの充実

| 具体的な取り組み | 数値目標など | 備考 |
|-----------------------|--------|----|
| 既存パンフレットの整理・作新 | 令和5年度 | |
| 既存サインの更新（デジタルサイネージなど） | 10カ所 | |
| 観光パンフレットのデジタル化 | 令和5年度 | |

戦略④ インバウンド対応の強化

1) インバウンド受入体制の充実

| 具体的な取り組み | 数値目標など | 備考 |
|------------------------------|--------|----|
| インバウンドに対応した観光案内所の運営 | 利用者増 | |
| 佐賀フィルムコミッションと連携した海外映画等の誘致 | 1作品 | |
| キャッシュレスの推進 | 満足度向上 | |
| 翻訳機等の活用を含めたインバウンド対応を学ぶ講習会の開催 | 年1回以上 | |
| 多言語標記の案内マップや看板の新設・更新 | 10カ所 | |

戦略⑤ 広域観光の強化

1) 九州新幹線西九州ルート開通を見据えた誘客

| 具体的な取り組み | 数値目標など | 備考 |
|--------------------------|--------|----|
| 周辺市町と連携した広域観光ルートの提案 | 5コース | |
| 佐賀・長崎デスティネーションキャンペーンへの協力 | - | |
| 鉄道事業者との連携強化 | - | |

2) 肥前路南西部広域観光協議会（W E T）を軸とした近隣市町のと連携

| 具体的な取り組み | 数値目標など | 備考 |
|---------------------|--------|----|
| 定期的な協議会への参加 | 月1回 | |
| 肥前路南西部広域観光協議会での営業活動 | 年1回以上 | |
| 連携体系の整理・検討 | － | |

プランの推進体制

かしま観光戦略プラン ver.3.0 の実現に向けて、この検証及び実践、会員相互の情報ネットワークの場が必要であり、「かしま観光戦略会議」において、本プランを推進していきます。

用語解説

- ・アウトドア・アクティビティ

屋外で行う活動の総称である。日本語では略してアウトドアと言うことが多い。

野外活動やアウトドア活動ともいう。

- ・アプリ

アプリケーション (Application) の略。OS (オペレーティング・システム) 上にインストールして利用するソフトウェア全般のことを意味する。

- ・インバウンド

外国人が訪れてくる旅行のこと。日本へのインバウンドを訪日外国人旅行または訪日旅行という。

- ・インフルエンサー

世間に与える影響力が大きい行動を行う人物のことをいう。

- ・SNS (エヌエヌエス)

ソーシャル・ネットワーキング・サービス (social networking service) の略。Web上で社会的ネットワーク (ソーシャル・ネットワーク) を構築可能にするサービスである。

- ・クラウドファンディング

「群衆 (クラウド)」と「資金調達 (ファンディング)」を組み合わせた造語で、「インターネットを介して不特定多数の人々から少額ずつ資金を調達する」ことを指す。

- ・佐賀・長崎デスティネーションキャンペーン

2022年（令和4年）秋に佐賀県・長崎県で開催されることが決定した、JRグループ6社と地方自治体、地域の関係者が協力し、全国規模で集中的に観光誘客を行う国内最大規模の観光キャンペーン

- ・佐賀フィルムコミッション

国内外の映画やドラマ等を誘致し、映像を通して地域の魅力を発信することにより、佐賀県をPRする非営利公的機関

- ・DX（ディーエックス）

デジタルトランスフォーメーション(Digital Transformation)の略。IT（インターネットなどの通信とコンピュータとを駆使する情報技術）の浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させるという概念である。

- ・DMO（ディーエムオー）

Destination Management/Marketing Organizationの略。戦略策定、各種調査、マーケティング、商品造成、プロモーション等を一体的に実施する組織体である。

- ・デジタルサイネージ

表示と通信にデジタル技術を活用して平面ディスプレイやプロジェクタなどによって映像や文字を表示する情報・広告媒体

- ・ デジタルマーケティング

様々な形態のデジタルメディアを通じて自社のサービスを宣伝・訴求すること

- ・ HP (ホームページ)

ホームページ (home page) の略。本来はウェブブラウザを起動した時に表示されるウェブページなどの画面である。

かしま観光戦略会議 委員名簿

| No. | 氏 名 | 推薦団体・役職 |
|-----|--------|-------------------------|
| 1 | 峰松 宏文 | 鹿島酒蔵ツーリズム推進協議会 会長 |
| 2 | 松本 雅則 | 鹿島市ニューツーリズム推進協議会 会長 |
| 3 | 永池 まち子 | 鹿島酒蔵ツーリズム 酒蔵ガイドの会 副会長 |
| 4 | 中村 真理 | 特定非営利活動法人 肥前浜宿水とまちなみの会 |
| 5 | 山本 浩二 | 鹿島市インバウンド推進協議会（再耕庵タクシー） |
| 6 | 中山 優 | 祐徳観光商店連盟 副会長 |
| 7 | 藤 雅仁 | （株）七浦専務取締役・道の駅鹿島駅長 |
| 8 | 山口 光玄 | 誕生院 執事 |
| 9 | 徳村 幸司 | 鹿島シティーコム |
| 10 | 有森 滋樹 | 鹿島商工会議所 専務理事 |
| 11 | 山口 守 | 祐徳自動車株式会社 乗合バス部長 |
| 12 | 櫻木 剛 | 九州旅客鉄道株式会社 佐賀鉄道部 企画課長 |
| 13 | 田雑 継市郎 | 鹿島市地場産業振興協議会 会長 |
| 14 | 中村 雄一郎 | 一般社団法人 鹿島市観光協会 代表理事 |
| 15 | 光武 博之 | 肥前浜宿まちづくり公社 代表取締役 |
| 16 | 岩永 信二 | 鹿島 I T クリエイト代表 |